

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年4月2日(2015.4.2)

【公開番号】特開2013-215392(P2013-215392A)

【公開日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-058

【出願番号】特願2012-88401(P2012-88401)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 3 1

A 6 1 B 6/03 3 3 0 A

G 0 6 T 1/00 4 0 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月12日(2015.2.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体が横たわる天板と、

前記天板上の被検体に向けてX線を照射するX線照射器と、

前記天板上の被検体を透過したX線を検出するX線検出器と、

前記X線検出器により検出されたX線の透過データを収集するデータ収集部と、

前記天板と前記X線照射器とを前記天板上の被検体の体軸方向に相対移動させる移動駆動部と、

前記天板と前記X線照射器との相対位置を検出する位置検出部と、

前記位置検出部により検出された前記天板と前記X線照射器との相対位置に応じて、前記データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止を制御するデータ収集制御部と、

を備えることを特徴とするX線診断装置。

【請求項2】

前記移動駆動部は、前記天板と前記X線照射器とを前記体軸方向の一方向である往路方向に相対移動させ、その体軸方向の他方向である復路方向に相対移動させることを特徴とする請求項1記載のX線診断装置。

【請求項3】

前記データ収集制御部は、前記位置検出部により検出された前記天板と前記X線照射器との相対位置に応じて、前記天板上の被検体における前記透過データを収集するデータ収集領域を前記往路方向及び前記復路方向で一致させるよう、前記データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止を制御することを特徴とする請求項2記載のX線診断装置。

【請求項4】

被検体が横たわる天板と、前記天板上の被検体に向けてX線を照射するX線照射器と、前記天板上の被検体を透過したX線を検出するX線検出器と、前記X線検出器により検出されたX線の透過データを収集するデータ収集部と、前記天板と前記X線照射器とを前記

天板上の被検体の体軸方向に相対移動させる移動駆動部とを備えるX線診断装置を制御するX線診断装置の制御方法であって、

前記天板と前記X線照射器との相対位置を位置検出部により検出するステップと、
検出した前記天板と前記X線照射器との相対位置に応じて、前記データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止をデータ収集制御部により制御するステップと、
を有することを特徴とするX線診断装置の制御方法。

【請求項5】

前記移動駆動部により、前記天板と前記X線照射器とを前記体軸方向の一方である往路方向に相対移動させ、その体軸方向の他方向である復路方向に相対移動させるステップをさらに有することを特徴とする請求項4記載のX線診断装置の制御方法。

【請求項6】

前記制御するステップでは、検出した前記天板と前記X線照射器との相対位置に応じて、前記天板上の被検体における前記透過データを収集するデータ収集領域を前記往路方向及び前記復路方向で一致させるよう、前記データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止を制御することを特徴とする請求項5記載のX線診断装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

実施形態に係るX線診断装置は、被検体が横たわる天板と、天板上の被検体に向けてX線を照射するX線照射器と、天板上の被検体を透過したX線を検出するX線検出器と、X線検出器により検出されたX線の透過データを収集するデータ収集部と、天板とX線照射器とを天板上の被検体の体軸方向に相対移動させる移動駆動部と、天板とX線照射器との相対位置を検出する位置検出部と、位置検出部により検出された天板とX線照射器との相対位置に応じて、データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止を制御するデータ収集制御部とを備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

実施形態に係るX線診断装置の制御方法は、被検体が横たわる天板と、天板上の被検体に向けてX線を照射するX線照射器と、天板上の被検体を透過したX線を検出するX線検出器と、X線検出器により検出されたX線の透過データを収集するデータ収集部と、天板とX線照射器とを天板上の被検体の体軸方向に相対移動させる移動駆動部とを備えるX線診断装置を制御するX線診断装置の制御方法であって、天板とX線照射器との相対位置を位置検出部により検出するステップと、検出した天板とX線照射器との相対位置に応じて、データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止をデータ収集制御部により制御するステップとを有する。